

○役割分担と共汗の記載例

分野	記載例
産業・商業	<p>活性化部会での意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 後継者不足が課題となる一方，不景気で大学生や高校生の就職先がない。そうしたギャップを埋めるのが行政の役割。 ○ 後世に守り伝える「工芸」と，常に変化すべき「産業」は分けて考える必要があり，何をどう変えていくかを考えることや，インフラの整備などは，行政の役割。 ○ 伝統産業も，感性の良い人やリーダーシップを取る人により，時代に合った変化をして伸びていける。行政からも大局的な観点からのサポートが必要。 ○ 業態は一定のサイクルで盛衰し，企業家，経営者は新たなミッションを考える必要がある。行政はその手助けをできないか。
農林業	<p>活性化部会での意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消費者に正しい情報・知識を持ってもらうことや，特定の農産物の栽培を推奨するなど，生産者や商業者ではできないことを，行政と役割分担して進める必要がある。
観光	<p>活性化部会での意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 京都市民もおもてなしの力を高め，市民と観光事業者が中心となって進めていくことが，量から質の時代にあっては重要。行政は少し後ろに下がって，経済界，市民，行政の役割を明確にし，分担して一緒にやっていくことが重要 ○ 生活文化に関わる産業全てが循環の中で観光につながっているという認識を持たなければ，観光は，観光事業者だけの話になってしまう <p>「未来・京都観光振興計画2010⁺」での記載例</p> <p><観光関連業界></p> <p>京都観光を第一線で支える立場から，サービスの改善，向上と観光客の不満解消に努め，京都観光の質をさらに高める。</p> <p><京都の魅力（歴史，伝統，文化，自然，産業など）の担い手></p> <p>類まれなる京都の「光」を大切に守り，磨き，国内外の観光客はもちろん，市民に発信し，次代に伝える。</p> <p><市民></p> <p>先人から預かった京都を大切に継承するとともに，京都人として誇りを持って観光客をおもてなしする。また，京都観光の主体として，自らもその魅力を享受し，楽しむ。</p> <p><大学・学生></p> <p>京都の魅力を一層高め，知の集積を学術研究はもとより新産業の創出や芸術文化の創造に生かす。学生・留学生は，京都をしっかりと楽しむとともに，地域への参加を通じて京都のパワーを高める。</p>

	<p><行政・京都観光振興会議></p> <p>あらゆる政策の融合によるまちづくりを進めるとともに、京都観光を支えるみんなのプラットフォームとしての機能を果たす。</p> <p><観光客></p> <p>マナーを守りながら京都を深く楽しみ味わう。また、京都観光の御意見番として京都観光の質を更に高める役割を担う。</p>
大学	<p>「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」での記載例</p> <p><大学></p> <p>大学の使命として地域貢献が求められている。</p> <p><コンソーシアム></p> <p>大学連携により、京都の大学で学びたくなる仕組みをつくる。</p> <p><学生></p> <p>学生のパワーにより京都力を高める。</p> <p><行政></p> <p>産学公及び地域の連携によるまちづくりを更に進める。</p>
国際化	<p>活性化部会での意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際化について、一部の市民だけが頑張るのではなく、市民が広く取り組むようアピールすることが必要 <p>「京都市国際化推進プラン」での記載例</p> <p><市民、民間団体等></p> <p>外国籍市民を含む市民やNPOをはじめとする民間団体が積極的に国際化に取り組む。</p> <p><国際交流会館></p> <p>京都の国際化を進める中核的施設として、外国籍市民を含むより多くの市民にとって、利用しやすく事業に参加しやすい場とする。</p> <p><行政></p> <p>市民や団体が活動を行いやすくなるよう、情報提供の充実や広報等での協力をを行う。</p>